

日本職業教育学会 第7回（通算67回）大会 開催概要

1 開催日

2026年10月9日（金）～ 11日（日）

2 会 場

学校法人電子学園 日本電子専門学校 本館 および 9号館（メディアホール）

〒169-8522 東京都新宿区百人町1-25-4（JR総武線「大久保駅」南口から徒歩約2分）



8F	181 AIシステム開発実習室Ⅰ 182 AIシステム開発実習室Ⅱ
7F	171 172
6F	161 情報システム開発実習室Ⅰ 162 OXシステム開発実習室
5F	151 セキュリティ実習室Ⅰ 152 153
4F	キャリアセンター オープンスペース
3F	職員室
2F	学生募集部
1F	総合受付 保健室
B1F	1811 1812 1813

本館

3F	931 CGワークステーションⅠ 932 CGワークステーションⅡ
2F	921 デジタルイメージスタジオⅠ 922 デジタルイメージスタジオⅡ
1F	
B1F	981 メディアホール

9号館

※ 会場に駐車スペースはありません。近隣の有料駐車場をご利用ください。

※ 会場近辺に飲食店が多数あります。昼食は随時、各自でお取りください。4階 休憩室もご利用いただけます。

3 日 程

日 時		次 第	会 場
第 1 日 (10月 9 日)	14:30～16:00	見 学 会	日本IBM本社（東京都港区） IBM Innovation Studio
第 2 日 (10月10日) ※ 開場10:00	10:30～12:00	自由研究発表	本館 152・171・172 教室
	12:00～13:30	昼 休 憩* ¹	(本館 4 階 休憩室も利用可能です)
	13:30～15:00	専 門 部 会	本館 171・172 教室
	15:00～17:00	総 会	本館 1B11+1B12 教室
	17:30～19:30	懇 親 会	ホテルローズガーデン新宿
第 3 日 (10月11日) ※ 開場08:30	09:00～10:30	自由研究発表	本館 152・171・172 教室
	10:40～12:10	専 門 部 会	本館 171・172 教室
	12:10～13:15	昼 休 憩	(本館 4 階 休憩室も利用可能です)
	13:15～16:00	シンポジウム* ²	9 号館 メディアホール

*1 この間、12:20～13:20の本館1B11+1B12教室で理事会を開催します。

*2 シンポジウムはオンラインで配信します。それ以外は会場現地開催のみです。

4 見 学 会——企業視察

【日時】10月 9 日（金）14:30～16:00

【会場】日本アイ・ビー・エム株式会社 虎ノ門本社 IBM Innovation Studio

〒105-5531 東京都港区虎ノ門2-6-1 虎ノ門ヒルズ ステーションタワー

(東京メトロ 日比谷線「虎ノ門ヒルズ駅」直結、銀座線「虎ノ門駅」A2出口直結)

【定員】18人 ※ 先着順で定員数到達次第、参加受付を締め切ります。

【内容】日本IBM 虎ノ門本社を訪問し、同社の先端技術体験施設「IBM Innovation Studio」を見学します。AIをはじめとする最新デジタル技術やソリューションの紹介・デモに加え、同社が提供する無償学習プログラム「IBM SkillsBuild」を体験します。また、職業教育・リスキリング・デジタル人材養成をテーマに、同社担当者との意見交換も予定しています。企業における先進的な技術活用や人材養成の実践に触れながら、職業教育の高度化や産学連携の可能性について考察する機会にしたいと考えています。

【備考】参加費無料。参加者はIBM SkillsBuildの事前登録・事前学習が必要です（後日別途個別案内）。

5 自由研究発表

○ 発表者になれるのは会員（2026年度会費納入者）のみです。共同研究の場合、全員が会員である必要があります。

○ 発表件数は1人1件です。共同研究の場合も、複数件の発表は出来ません。

- 発表時間は1人25分（発表20分・質疑応答5分）です。
- 発表日時のご希望を承れません（大会実行委員会が設定します）。ご了承ください。
- 発表申込受付後、所定書式に拠る発表要旨原稿を作成・提出していただきます（発表申込および発表要旨原稿提出の詳細は後日別途公表）。予めご承知おきください。

6 専門部会

◆ 障害者教育訓練部会

【日時】10月10日（土）13:30～15:00

【会場】本館 171 教室

【テーマ】障害者教育訓練における福祉施策との連携

【講演】朝日雅也（埼玉県立大学名誉教授）

【概要】障害者教育訓練部会では、教育・労働・福祉の各分野を横断し、障害者および支援者の教育訓練に関する研究と実践の交流を促進することを目的としています。そのためには、教育・労働・福祉に各々が理解を深めていくとともに連携を模索する必要があります。そこで、雇用と福祉の連携に詳しく、職業リハビリテーション学会の会長等を歴任された朝日名誉教授をお招きし、講演会を開催いたします。障害関係に少しでもご興味のある方は、ぜひご参加いただけますと幸いです。

◆ 企業内教育部会

【日時】10月10日（土）13:30～15:00

【会場】本館 172 教室

【テーマ】さまざまな企業内教育・企業内学校について考える——人材育成のかわること、かわらないこと

【概要】（未定：検討・調整中）

◆ 高校職業教育部会

【日時】10月11日（日）10:40～12:10

【会場】本館 171 教室

【テーマ】高校職業教育の現状と課題

【提題】藤田晃之（学会外ゲスト、筑波大学）、山田宏（職業教育調査会）

【概要】日本の高校における職業教育は、地域の産業を支える上で極めて重要な役割を果たしてきたが、社会・経済の変化に伴い、大きな転換期を迎えている。生徒数の激減、専門教育の内容と産業界のニーズとの乖離など、高校職業教育を巡る問題が山積する一方で、産業界からは、即戦力となる人材の育成の場として依然期待が寄せられている。さらに、文部科学省の「マイスター・ハイスクール（次世代地域産業人材育成刷新事業）」等の施策や、学習指導要領改訂のための議論にみるように、高校職業教育は変革を迫られている。昨年度に引き続き、各専門（職業）学科の現状を把握した上で、諸課題を検討し、今後の高校職業教育の在り方について議論を行いたい。

◆ 専修学校部会

【日時】10月11日（日）10:40～12:10

【会場】本館 172 教室

【テーマ】専門学校教育の成果を社会的に実証する評価フレームワーク
——産業界の期待と教育の接続を目指して——

【提題】板倉真紀（株式会社グッドニュース）

【概要】専門学校教育の質保証において、卒業時の到達度だけでなく、卒業後の活躍や企業からの評価を教育改善にどう結び付けるかは、今後の重要課題である。本部会では、卒業生・企業 双方の評価に基づいて学習成果を可視化する取組の中間報告を起点にし、専門学校教育における質保証の視点、卒業生調査の意義と限界、社会との連携を踏まえた評価の在り方、教育改善への活用方法等について、参加者相互の討議を通じて今後の方向性を探る。

7 シンポジウム

【日 時】10月11日（日）13:15～16:00

【会 場】9号館 メディアホール

【テ ー マ】職業教育学研究をめぐる共通感覚の形成に向けて
——（I）比較研究アプローチの学術的意義と社会的意義——

【趣旨説明】「職業教育学研究をめぐる共通感覚の形成に向けて」という共通テーマを掲げ、第7回大会から3回シリーズでのシンポジウムを開催します。これまでの研究の中から秀逸な研究成果を披露いただき、学術的・社会的意義の観点から改めて探究し、本学会の「職業教育」と「職業教育学」についての理解、「共通感覚」を拡げる議論を展開したいと考えております。本大会では「比較研究アプローチの学術的意義と社会的意義」をサブテーマとして、諸外国の事例に学ぶ比較研究アプローチに焦点をあてます。第1部では、シンポジストの皆様は職業教育を研究する対象国としてドイツ、米国、英国をとりあげ、比較研究アプローチとその学術的・社会的意義について紹介いただき、日本への示唆について話題提供をいただきます。第2部では、ディスカサントから論点を提示いただき、シンポジストだけでなく、本大会での比較研究アプローチによる自由研究発表者にも登壇いただき、ラウンドテーブル形式で共に対話を深めていきます。皆様と共に、界を越えた横断的な議論を深めることで、「職業教育学」の知を再構築し、本学会における「職業教育」と「職業教育学」に対する新たな共通認識が形成できる場となることを目指しております。

【シンポジスト】大重光太郎（獨協大学） 「ドイツの職業教育への研究アプローチとそこから学ぶもの」
横尾恒隆（横浜国立大学名誉教授） 「米国の職業教育への研究アプローチとそこから学ぶもの」
白幡真紀（仙台大学） 「英国の職業教育への研究アプローチとそこから学ぶもの」

【ディスカサント】吉本圭一（東京情報デザイン専門職大学客員教授）

【司 会】渡辺達雄（金沢大学）・古賀稔邦（学校法人電子学園）

※ シンポジウムはオンラインでも配信されます。非会員にも無料公開されます。

8 留意事項

- 開催期間中、開場は、第2日（10月10日）本館、第3日（10月11日）本館＆9号館のみです。
その際、本館4階に休憩室（80人程度収容可）を設けます。
- 参加者の宿泊について、大会実行委員会事務局等は手配しません。会場近辺（新宿駅周辺等）にビジネスホテル等は多数ありますが、利用客が多いため、各自で早めの手配をお願い致します。

9 参加費

▼ 大 会			▼ 懇親会	
区分	一 般	学生・院生	一 般	学生・院生
会 員	2000円	1000円	4000円	2000円
非会員	3000円		6000円	

▼ 支払方法

大会参加申込時に決済サイト「学会バンク」から大会参加費・懇親会参加費をご納付いただきます。
決済サイトは大会参加申込受付開始時に開設します（URLは後日、大会プログラム配付時に公開します）。

10 参加申込等

- 自由研究発表申込期限： 8月14日（金）正午
（申込フォーム）https://enquete.cc/q/jsstvet2026_presentations01



- 自由研究発表要旨原稿提出期限： 9月12日（金）正午
（提出先）JSSTVET2026大会実行委員会事務局 jsstvet2026@denshi-core.org

※ 要旨原稿の仕様は、事務局から申込者に個別に案内します。

- 大会参加申込期間： 8月24日（月）～ 9月25日（金）正午
（申込フォーム）※ 大会プログラム公開時に申込フォームURLを提示します。

以 上